

授業科目	歯科英語	担当教員	外部講師☆	単位数	1	時期	3年次 9月～11月
			①荒井 孝仁	時間数	15		
目的と目標	歯科医療従事者として、臨床上で使用される英語の専門用語を理解する。 1 歯科診療室における様々な場面を想定した会話ができる 2 歯科用語を英語で理解できる						
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1 ～ 4	歯科衛生士のための英会話	(1)受付業務 (2)インフォームドコンセント (3)口腔衛生指導 (4)問診票 (5)子どもの歯のケア (6)適切なブラッシング方法 (7)術後の注意 (8)歯科でよく使う鎮痛剤			講義 及び 演習	外部講師 (荒井孝仁)	
5 ～ 7	歯科衛生士のための重要用語	(1)歯科医療に携わる者 (2)歯科学 (3)検査 (4)痛みの種類 (5)全身疾患 (6)歯科疾患、歯科治療 (7)歯の名称、部位の名称 (8)口腔解剖用語、人体各部位 (9)患者さん向けの単語 (10)子ども向けの単語					
8	歯科衛生士の仕事とは 試験（1時間）	(1)歯科衛生士について (1)筆記試験			試験		
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	歯科衛生学シリーズ 歯科英語 （医歯薬出版）						
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験	①歯科医師として医療機関に勤務している経験を活かした授業展開をする。						

授業科目	受付対応	担当教員	外部講師☆	単位数	1	時期	2年次 4月～6月
			①横山 雅行	時間数	15		
目的と目標	歯科診療所における受付事務の必要性、受付の機能と患者とのコミュニケーションの手段としての話し方や対応について学習する。 1 歯科診療所における受付の必要性について理解する 2 歯科診療所における受付業務について理解する						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	歯科診療所における受付業務	(1)受付の必要性、存在意義		講義	外部講師 (横山雅行)		
2		(2)対応の基礎知識					
3	受付の基礎知識と業務	(1)受付対応の仕事					
4		(2)社会保障と医療保険					
		(3)診療録の作成と保管					
		(4)時間約束制、リコール制					
5	受付の事務的な仕事	(1)物品購入と在庫管理					
6		(2)金銭の取り扱い					
		(3)文書の発行					
		(4)患者連絡用の文書					
		(5)文書・資料の整理と保管					
		(6)待合室の管理					
		(7)コンピューターの利用					
7	まとめ	(1)受付対応のまとめ		試験			
8	試験（1時間）	(1)筆記試験					
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	デンタルスタッフのためのクリニカルマナー 歯科医院における受付・患者対応と事務 (医歯薬出版)						
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験	①歯科医師として医療機関に勤務している経験を活かした授業展開をする。						

授業科目	社会保険・請求事務	担当教員	外部講師☆	単位数	1	時期	3年次 10月～12月
			①柵橋 正志	時間数	15		
目的と目標	社会保険と医療保険の知識、診療保険の支払われる仕組みを習得する。 1 社会保険制度について理解する 2 医療保険と保険診療について理解する						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1 2	社会保険について	(1)社会保険の定義 (2)社会保険の内容 (3)社会保険行政機構の概要 (4)現行の社会保険 (5)我が国の社会保険制度について		講義	外部講師 (柵橋 正志)		
3 4	医療保険について	(1)医療保険の概要 (2)医療保険の仕組み (3)医療保険の実際					
5 6	保険診療について	(1)保険診療における歯周病治療の流れ		試験			
7	まとめ	(1)社会保険・請求事務のまとめ					
8	試験（1時間）	(1)筆記試験					
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	最新保険診療マニュアル（岐阜県歯科医師会） 講師の提示する資料配布						
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験	①歯科医師として医療機関に勤務している経験を活かした授業展開をする。						

授業科目	関連医学	担当教員	外部講師☆	単位数	1	時期	2年次 5月～7月
			①岩島 広明	時間数	30		
目的と目標	歯科治療に関わる有病患者の病態、治療方法を習得する。 1 歯科と関係の深い全身疾患について理解する 2 全身疾患のある患者対応について理解する						
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	歯科と関係の深い全身疾患	(1)脳血管障害			講義	外部講師 (岩島広明)	
2		(2)アルツハイマー					
3		(3)パーキンソン病					
4		(4)うつ病					
5		(5)高血圧症					
6		(6)虚血性心疾患					
7		(7)不整脈					
8		(8)心臓弁・先天性心疾患					
9		(9)慢性閉塞性肺疾患					
10		(10)気管支喘息					
11		(11)過換気症候群					
12		(12)消化性潰瘍					
13		(13)肝硬変					
14		(14)ウイルス性肝炎					
15	まとめ (1時間)	(15)糖尿病			試験		
	試験 (1時間)	(16)腎不全 (人工透析)					
		(17)前立腺肥大症					
		(18)関節リウマチ					
		(19)甲状腺機能亢進症・低下症					
		(20)花粉症					
		(21)アトピー性皮膚炎					
		(22)貧血					
		(23)悪性腫瘍 (がん)					
		(24)白血病					
		(25)HIV 感染症・AIDS (エイズ)					
		(26)妊娠					
		(27)更年期障害					
		(28)骨粗鬆症					
		(29)認知症					
		(1)関連医学のまとめ					
		(2)筆記試験					
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	歯科衛生士のための全身疾患チェアサイド BOOK (クインテッセンス出版)						
事前準備や受講要件等							
☆担当職員の実務経験	①歯科医師として医療機関に勤務している経験を活かした授業展開をする。						

授業科目	看護・介護技術	担当教員	外部講師☆ ①額額正浩 ②服部誠司 ③小森康弘 ④種田辰也 ⑤河合正貴 ⑥馬場政司	単位数	1	時期	2年次 5月～7月
			専任教員 ⑦中沢伸代	時間数	30		
目的と目標	訪問歯科診療や病院でのチーム医療が推進される中、各領域における患者との関わる上で必要な介護知識・技術および看護技術を理解し、他職種との共働・連携のあり方と方法について学ぶ。 1 介護の意義や根拠、基本知識について理解する 2 介護の具体的手段（移動時の介助、食事の介助）における注意点を理解する 3 歯科衛生士に必要な看護知識・技術を学ぶ 4 チーム医療における歯科衛生士の役割について理解する						
回数	学習課題	内 容		方法	担当教員		
1	介護の基本と実際	(1)介護とは・介護保険制度		講義	外部講師 (額額正浩)		
2		(2)介護予防における他職種との連携・協働					
3	介護の具体的方法	(1)介護用品についての基本的な考え方		講義 及び 実習	(服部誠司)		
4		(2)車椅子の取扱い					
		(3)寝返り等の動作					
		(4)移乗動作・歩行動作について					
5	高齢者の身体的・精神的特徴	(1)高齢者の身体的特徴		講義	(小森康弘)		
6		(2)認知症の特徴					
		(3)高齢者の医療について					
		(4)介護用品の種類と選ぶポイント					
7 ～ 1 2	歯科衛生士が知っておくべき看護知識及び技術	(1)看護とは		講義 及び 演習	専任教員 (中沢伸代)		
		(2)看護師の業務内容					
		(3)バイタルサインと測定方法					
		(4)患者とのコミュニケーション					
		(5)患者への支援					
		(6)歯科口腔外科外来での看護業務					
		(7)口腔外科病棟での業務					
1 3 1 4	他職種との業務連携	(1)診療所と病院の役割			外部講師 (河合正貴) 外部講師 (馬場政司)		
		(2)医療チームの中の歯科衛生士					
		(3)NSTの実際					
		(4)入院を要する患者(口腔外科的疾患を有する患者)の看護					
		(5)周術期などの口腔ケア					
		(6)地域連携					
1 5	試験（1時間）	(1)筆記試験		試験	専任教員 (中沢伸代)		
評価方法		筆記試験					
参考文献と資料		講師の提示する資料配布					
事前準備や受講要件等							
☆担当職員の実務経験		①②③④社会福祉士として施設に勤務している経験を活かした授業展開をする ⑤看護師として医療機関に勤務している経験を活かした授業展開をする ⑥歯科医師として医療機関に勤務している経験を活かした授業展開をする ⑦看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする					

授業科目	手話	担当教員	外部講師☆ ①早川 幸代	単位数	1	時期	3年次 6月～7月
				時間数	15		
目的と目標	<p>聴覚に障がいのある人が安心安全な生活ができるよう援助できる技術や知識を学び、適切な支援方法を習得する。</p> <p>1 手話による表現方法を理解する 2 聴覚障がい者の生活について理解する 3 手話によるコミュニケーションを実践する</p>						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	手話の基礎知識	(1)手話とは (2)名前の表現、挨拶		講義 及び 演習	外部講師 (早川幸代)		
2	伝えあってみよう	(1)自己紹介					
3	聴覚障がい者の生活	(1)聴覚障がい者のコミュニケーション					
4		(2)聴覚障がい者の生活					
5		(3)聴覚障がい者の心理					
6	まとめ	(1)まとめ		演習			
7		(2)スピーチ					
8	試験（1時間）	(1)筆記試験		試験			
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	今すぐはじめる手話テキスト 聴さんと学ぼう！（全日本ろうあ連盟）						
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験	①手話通訳士として専門機関に勤務した経験を活かして授業展開をする。						

授業科目	接遇作法	担当 教員	外部講師	単位数	1	時期	2年次 4月～5月
			伊藤 享子	時間数	15		
目標と	社会人としての基本的なマナーを習得する。 1 マナーの必要性和身だしなみの重要性について理解する 2 美しい言葉遣い、立ち振る舞いを習得する 3 電話応対について実践する						
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	マナーの必要性和身だしなみ	(1)組織内でのマナーの必要性 (2)医療現場でのホスピタリティとは (3)好感を持たれる身だしなみ、表情			講義 及び 演習	外部講師 (伊藤享子)	
	挨拶の仕方と自己紹介・他者紹介	(1)「草礼」「敬礼」「最敬礼」 (2)挨拶の練習					
2	美しい言葉遣い(1)	(1)敬語・日常の言葉遣いの確認 (2)「敬語」の見直し					
	美しい言葉遣い(2)	(1)好感を持たれる話し方 (2)クッション言葉 (3)ホスピタリティを意識した話法					
3	美しい言葉遣い(3)	(1)コミュニケーションの重要性 (2)「話し方」「聴き方」 (3)「伝わる」と「伝わった」の違い					
	電話応対の基礎	(1)電話のかけ方・受け方 (2)声を録音・確認、発声練習					
4	電話応対トレーニング	(1)声を録音・確認 (2)実習前に電話をかける際には					
	美しい立ち居振舞い(1)	(1)患者対応のマナー 基礎編 (2)受付・案内・診察室でのマナー					
5	美しい立ち居振舞い(2)	(1)患者対応のマナー 応用編 (2)事例研究					
	美しい立ち居振舞い(3)	(1)来客対応と立ち居振舞い (2)美味しいお茶の出し方、茶菓の扱い					
6	キャリア教育 面接指導(1)	(1)自己肯定感を高める (1)面接での立ち居振舞い (2)エントリーシートの記載方法					
7	面接指導(2) ビジネス文書の記載方法	(1)ロールプレイング (1)ビジネス文書の基本 (2)メール・FAXのマナー					
8	試験(1時間)	(1)筆記試験			試験		
評価方法		筆記試験					
教科書・参考文献		講師の提示する資料					
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験							

授業科目	研究	担当教員	外部講師☆ ①合掌 かおり	単位数	1	時期	3年次 9月～1月
				時間数	30		
目的と目標	専門職として歯科保健の発展のための研究の必要性や方法を理解する。 1 文献の検索方法を身に付ける 2 文献を読み込みエビデンスに基づいたプレゼンテーションを作成する 3 グループプレゼンテーションを通じてプレゼンテーションの技術を養う						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1 2	テーマの選択と文献収集	(1)文献とは (2)文献検索の方法 (3)文献収集		講義 及び 演習	外部講師 (合掌かおり)		
3 4	プレゼンテーション計画	(1)PowerPointでの口演用プレゼンテーション作成について (2)プレゼンテーション内容の計画・分担		講義 及び 演習			
5 ～ 8	プレゼンテーション作成① ～ プレゼンテーション作成②	個人プレゼンテーションの作成		演習			
9 10	プレゼンテーション作成③	グループプレゼンテーションの作成 (1)プレゼンテーションのまとめ (2)プレゼンテーション資料提出 (3)発表練習		演習			
11 12	プレゼンテーション発表	(1)グループ発表 (2)評価とフィードバック		演習			
13 14	プレゼンテーション発表修正・提出	(1)グループでプレゼンテーション修正		演習			
15	まとめ	(1)まとめ					
評価方法		提出課題（発表用プレゼンテーション）による評価					
教科書・参考文献		配布資料					
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の実務経験		①歯科衛生士として医療機関に勤務している経験を活かした授業展開をする。					